

教科名	公民	科目名	政治・経済
対象	登校・オンライン	年次	2
添削指導(回)	6	面接指導 (単位時間)	2
単位数	2	備考	
教科書・補助教材等	政治・経済(東京書籍)		
学習の目的	政治・経済の様々な課題に対して多角的な視点から捉える力を涵養すると同時に、社会で生きるために必要な正しい判断、正しい行動について理解を深め、人間として正しいあり方、生き方を目指す。		

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	オリエンテーション 民主政治の成立について ・世界のおもな政治体制 ・日本国憲法の制定と基本原理	日本国憲法の制定と三大原理について理解を深め、今の日本の政治的な面での課題について、自分たちなりに考える。
	5	・平和主義について 国会と立法について ・内閣と行政	国会、内閣などの仕組みについて学び、日本のためにどのような活動を行っているのかについて学び、理解を深める。
	6	・裁判所と司法 ・戦後政治と政党、選挙、世論と政治参加	日本の選挙制度について理解を深め、選挙制度をめぐる諸課題について考える。また、投票権が18歳となり、政治に関する関心を養う。
	7	・国際社会と国際法、国際連合の役割と課題 ・戦後国際関係の展開と日本 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・現代の資本主義経済	日本が国際社会において果たすべき役割について、国際社会の仕組み、地域統合の進展について等を理解する。 また、地球の環境と資源・エネルギー問題についての繋がりを見つけ、理解を深める。
	8		
	9	・生産の仕組みと企業 ・市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長	企業について学び、そこから派生される市場や経済に関して理解を深めると同時に、日本経済の現状と課題について考える。

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
後期	10	・金融の仕組みと機能 ・財政の仕組みと機能 ・日本経済の発展と産業構造の変化	日本の選挙制度について理解を深め、選挙制度をめぐる諸課題について考える。また、投票権が18歳となり、政治に関する関心を養う。
	11	・公害と環境保全 ・消費者問題、農業、食料問題 ・中小企業の現状、雇用と労働問題	高度経済成長から安定成長、石油ショックからバブル崩壊という戦後の日本経済について理解を深めると同時に、日本経済の現状と課題について考える。
	12	・社会保障と福祉 ・貿易と国際収支、国際経済体制の展開 発展途上国の経済、地域主義の動き	日本が国際社会において果たすべき役割について、国際社会の仕組み、地域統合の進展について等を理解させる。
	1	・社会保障、地域活性化、労働環境、中小企業 ・日本の「食」と「農」	各地域や労働環境など、国際社会の様々な課題について理解し、
	2	地球環境にやさしいエネルギー ・経済援助と貧困、パレスチナ問題	将来の世代のニーズを損なうことなく、現代のニーズを満たすような社会づくりをするため、エネルギーの問題について理解を深める。 また、世界における貧困の状況とパレスチナの問題について学び、考え、見識を深める。
	3	復習	

学習上の留意点	与えられた課題について自ら調べ、自ら考える能力を身に付けられるよう、生徒が主体的に考える時間を設ける。また、時事問題等の現代社会に関する様々な課題について、日常生活と密着させて考察させる。
---------	--

評価の観点		評価方法
主体的に学習に取り組む態度	現代社会の政治・経済・国際関係に関する基本的問題、事柄に対して関心を高め、意欲的に追及しているか。	レポートの評価と定期考査の出題範囲における習得の状況进行评估し、総合的に評価する。
思考・判断・表現	現代社会の政治・経済・国際関係に関する基本的問題、事柄から課題を見出し、多角的な視点から考察しているか。	
知識・技能	課題についての考察や判断の過程や結果を、様々な方法で適切に表現できているか。 現代社会の政治・経済・国際関係、人間としての在り方・生き方に関する基本的な課題について理解し、その知識を身に付けられているか。	